

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212Q201	成人看護学概論 ( Introduction to Adult Nursing )	専門教育科目 成人看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	木・1	末弘 理恵・脇 幸子・大野夏稀・佐藤昂太郎 内線 5053 e-mail : suehiror

**【授業の概要・到達目標】**

ライフサイクルにおける成人期の人を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的な側面から全人的な存在として捉え、様々な健康レベルに応じて成人のセルフケアを促進し、健康生活をはぐむ看護を実践するために基盤となる知識や考え方を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. ライフサイクル上の過去～現在～将来を見据えた成人期にある人の特徴を人間の発達と生活という側面より理解できる。	○						
2. 成人期にある人の特徴を踏まえ、様々な健康レベルにおいて生じやすい健康課題とそれに影響を及ぼす要因について理解できる。	○						
3. 地域包括ケアシステムの中での成人期にある人の健康生活を支えるシステム・サービスについて理解できる。	○						
4. 成人期にある人の様々な健康課題を解決するために基盤となる理論を活用した看護について理解できる。			○				
5. 成人期にある人の健康生活をはぐむ看護について自分の考えを述べる事ができる。							○

**【授業の内容】**

1	生活と健康：ライフサイクルと様々な健康レベルからみた成人期の特徴
2	成人期にある人の健康生活を支える保健・医療・福祉サービスとシステム
3	倫理的課題・意思決定支援
4	成人期にある人の様々な健康課題を解決するために基盤となる理論（セルフケア、成人教育、エンパワーメント）
5	様々な健康レベルにおける成人期にある人の健康課題と看護
6	①慢性的な疾患をもちながら生活する成人期の人への看護
7	②急激な健康破綻の状況にある成人期の人への看護
7	③終末期にある成人期の人への看護
8	成人期にある人の健康生活をはぐむ看護 [グループディスカッション]

**【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】**

A：知識の定着・確認	○	課題レポート	・一事例を通して、慢性期・急性期・終末期の対象の特徴および看護を検討する。 ・講義内にてグループディスカッションを行う。
B：意見の表現・交換	○	発問、グループディスカッション	
C：応用志向	○	事例に基づく看護の検討	
D：知識の活用・創造			

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

準備学修	教科書、e-learning 等による予習。課題レポートでの体験を講義に活かす。(2-4h)
事後学修	配付資料・教科書・e-learning を活用し、復習する。課題レポートにより学習を意味付ける。(8h)

**【教科書】**

- ・小松浩子他:成人看護1成人看護学総論 第16版,医学書院,2022 978-4-260-04701-2
- ・黒田裕子監修:看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版,Gakken,2021 978-4-7809-1399-6
- ・厚生統計協会編:国民衛生の動向2023/2024年第70巻第9号,厚生統計協会,2023 ASIN:B0CB8BY48V
- ・野崎真由美他(2022)看護学テキストNICE成人看護学成人看護技術改訂第3版,南江堂 978-4-524-22954-3

**【参考書】** 授業内で紹介する。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
期末試験	80%	○	○	○	○	○
レポート	20%	○	○	○	○	○

**【注意事項】**

**【備考】**

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	末弘 理恵 (看護師)、脇 幸子 (看護師) 大野夏稀 (看護師) 佐藤昂太郎 (看護師)	
教員以外で指導に関わる 実務経験者の有無	無	
教員以外の指導に関わる 実務経験者		
実務経験をいかした 教育内容	成人期にある対象への看護について、看護実践の経験と理論に基づいて講義する。	
授業形態	対面授業	